

まえがき

本調査研究報告書は、アジア経済研究所が2012年度、2013年度（2年間）に実施している「ポスト新自由主義期のラテンアメリカにおける政治参加」研究会の成果の一部であり、一年目の中間報告書となる。本研究会（ポスト新自由主義期におけるラテンアメリカの政治参加）の最終成果は、2014年度中に研究双書として出版される予定である。

本研究会の目的は、「ポスト新自由主義期」のラテンアメリカ諸国で展開されている、市民による新たな政治参加の実態を解明することにある。1980年代から1990年代にかけて実施された新自由主義改革は、地方分権や公的サービスの縮減という意味での中央政府の縮小や国家・社会の関係性の変化、社会の粉砕や原子化などをもたらし、それ以降に広がったアンチ新自由主義運動と合いまって、さまざまな形態の政治参加の地平を広げてきた。例えば、地方政府レベルにおける予算編成や政策立案への市民参加、街角での新たな政策議論の場の設置、政策や政府に対する不満や要求の非制度的なアピールや抗議など、国政選挙や国民投票での投票という、代表制民主主義における従来の政治参加の枠組みにとどまらない、市民による「新たな政治参加」の形態が見られる。そしてそれは、近年ラテンアメリカ諸国で見られる左派政権の台頭をもたらした重要な要因の一つであった。本研究会は、各国でみられる「新しい政治参加」が、いかなる背景のもとに生まれ制度化されてきたのか、またそれらがいかに運営され、またいかほどの政治的影響力をもつのかなどについて、詳細な調査と分析を実施するべく企画された。

研究会一年目である今年度の報告書は、主に、各自のテーマに沿った先行研究のレビューや方法論に注目した内容となっている。この調査研究報告書を足がかりとし、今後、来年度の最終成果報告書の出版に向けて、更なる議論を重ねていく予定である。

2013年3月

編者

目次

- 第1章 「上から」の国民投票とラテンアメリカ現代政治
—統治の戦略としての国民投票分析に向けた試論—
宮地隆廣
- 第2章 国民投票における投票行動規定要因
—ボリビア 2006 年県自治国民投票における投票行動—
舟木律子
- 第3章 新たな利益代表システムの可能性
—国家コーポラティズムを超えて—
篠崎英樹
- 第4章 ブラジル・サンパウロ市の気候変動政策と参加型制度の再評価
舩方周一郎
- 第5章 「ポスト新自由主義期」ラテンアメリカの抗議運動
—研究方法論・技法に関する覚え書き—
上谷直克
- 第6章 ラテンアメリカ、特にアルゼンチンにおける協働セルフヘルプ型
集合行為を分析するための枠組に関する予備的考察
出岡直也
- 第7章 ベネズエラの地域住民委員会と参加民主主義
坂口安紀

執筆者一覧

(執筆順、所属は2013年3月現在)

宮地隆廣	同志社大学言語文化教育研究センター・助教
舟木律子	中央大学商学部 準教授
篠崎英樹	慶應義塾大学 非常勤講師
舛方周一郎	上智大学 大学院グローバルスタディーズ研究科 博士課程
上谷直克	アジア経済研究所 地域研究センター 副主任研究員 (研究会主査)
出岡直也	慶應義塾大学法学部 教授
坂口安紀	地域研究センター 主任研究員